

岡山県の地震

令和8年(2026年)9月

目 次

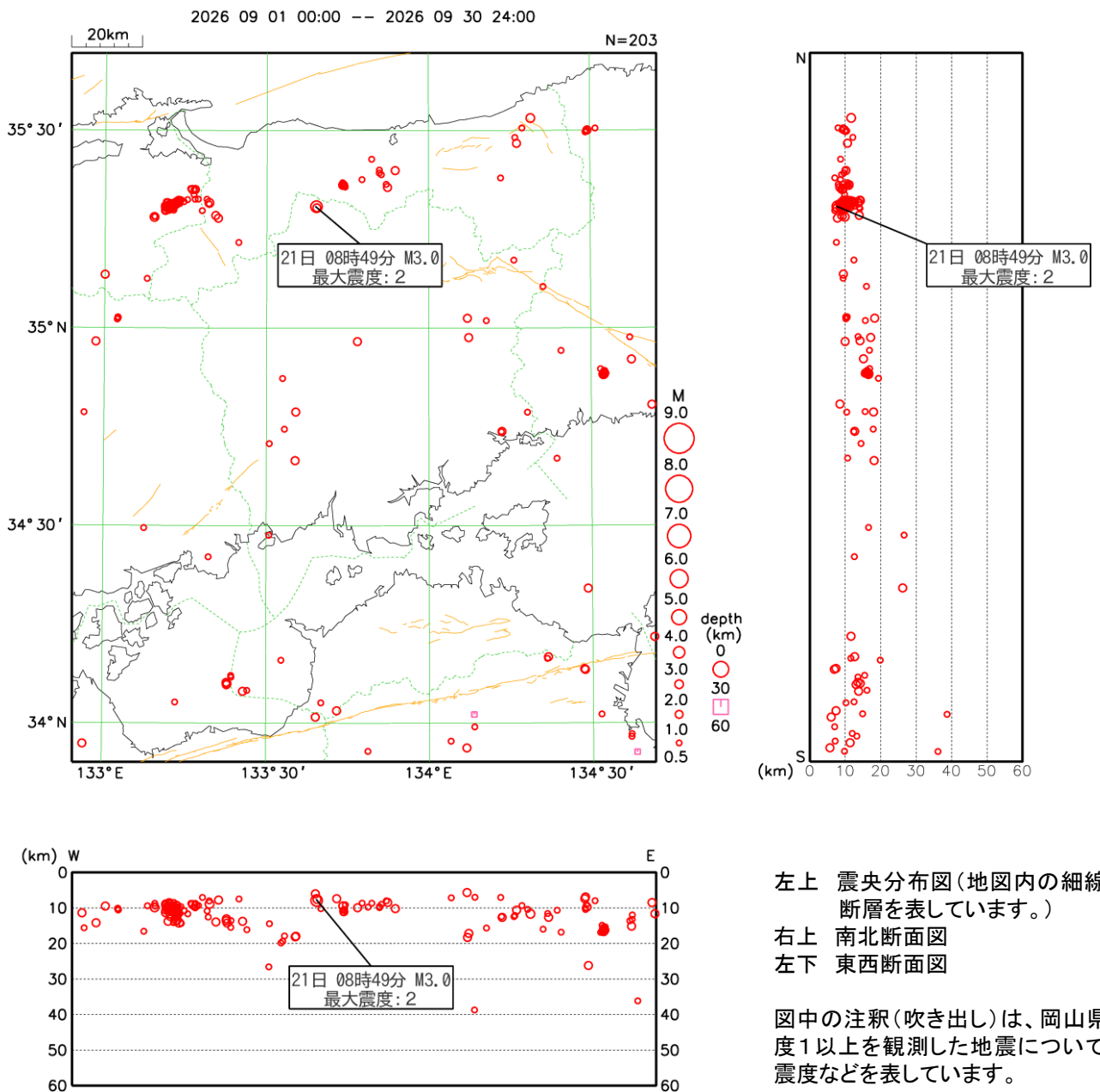
○岡山県及びその周辺の地震活動(9月)	
震央分布図及び断面図	… 1
概 況	… 1
岡山県において震度1以上を観測した地震の表	… 2
岡山県において震度1以上を観測した地震の震度分布図	… 2
○地震防災メモ No.249	
2016年10月の鳥取県中部の地震から10年 ～緊急地震速報を活用した地震への備え～	… 3

- 「岡山県の地震」は、月1回発行し、岡山県及びその周辺の地震活動をお知らせするとともに、適宜、社会的関心の高い地震について解説します。また、「地震防災メモ」により地震、津波に対する防災知識の普及等に努め、皆様のお役に立つことを目的としています。
 - この資料の震源要素、震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。
 - 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。
- また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(よしが浦温泉、飯田小学校)、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(平島、小宝島)、EarthScope Consortiumの観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

岡山地方気象台

岡山県及びその周辺の地震活動(9月)

震央分布図及び断面図



概況

・9月に岡山県で震度1以上の揺れが観測された地震は1回(前月:2回)でした。

岡山県において震度1以上を観測した地震の表(9月)

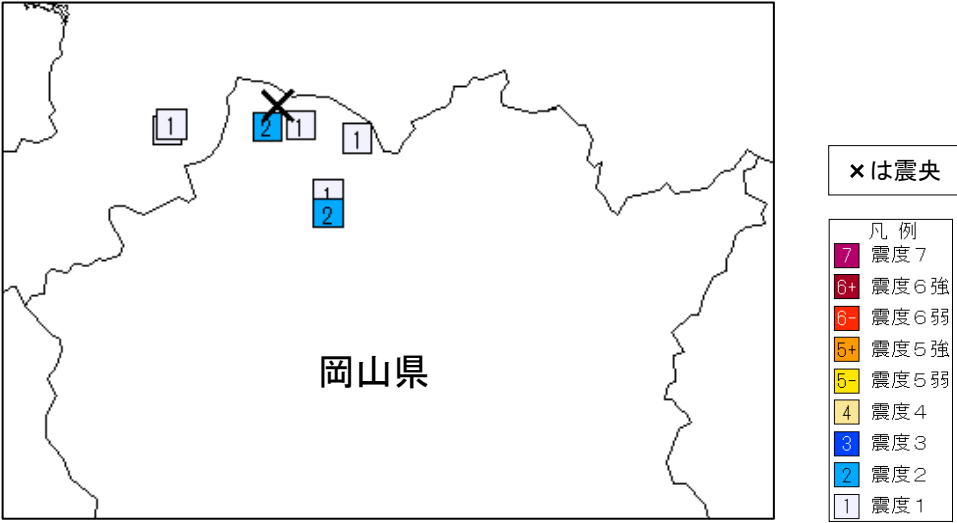
2026年09月21日08時49分 岡山県北部		35° 18.4' N 133° 39.1' E 8km M3.0
----- 地点震度 -----		
岡山県	震度 2: 真庭市禾津*,真庭市蒜山上福田*	
	震度 1: 真庭市豊栄*,真庭市蒜山下和*,真庭市蒜山下福田*	

- 注) 1 内容は暫定値であり、後日再調査のうえ、修正されることがあります。
 なお、地震データの確定値は『気象庁地震・火山月報(カタログ編)』に掲載されます。
- 2 地名に*印を付したものは、岡山県又は防災科学技術研究所の震度観測点によるものです。
 なお、震度は気象庁震度階級表によるものです。

岡山県において震度1以上を観測した地震の震度分布図(9月)

2026年9月21日08時49分 岡山県北部の地震

岡山県及び周辺観測点の震度分布



<地震の概要>

21日08時49分 岡山県北部の地震(深さ8km、M3.0)により、岡山県真庭市で最大震度2を観測したほか、岡山県と鳥取県で震度1を観測しました。

2016年10月の鳥取県中部の地震から10年

～緊急地震速報を活用した地震への備え～

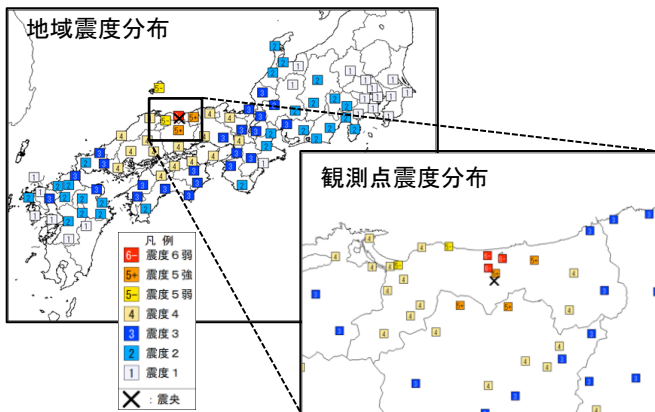
2016年10月21日に鳥取県で最大震度6弱(岡山県では最大震度5強)を観測した鳥取県中部の地震の発生から今年で10年となります。今回はこの地震を振り返るとともに、緊急地震速報を活用した地震への備えについて解説します。

○2016年鳥取県中部の地震

2016年10月21日14時07分、鳥取県中部の深さ11kmでマグニチュード6.6の地震が発生し、鳥取県の倉吉市、湯梨浜町、北栄町で最大震度6弱、岡山県でも真庭市、鏡野町で震度5強を観測したほか、関東地方から九州地方にかけて震度5弱～1を観測しました(下図)。この地震により、鳥取県を中心に負傷者32人(岡山県では3人)、住家全壊18棟、住家半壊312棟、住家一部破損15,095棟(岡山県では17棟)などの被害が生じました(総務省消防庁による)。

この地震についての概要や被害の状況について、詳しくは鳥取地方気象台の「鳥取県中部の地震(2016年)特集ページ」をご覧ください。

鳥取地方気象台 > https://www.jma-net.go.jp/tottori/disaster/2016chubu_jishin/index.html



石階段の手すり落下(倉吉市)

○緊急地震速報

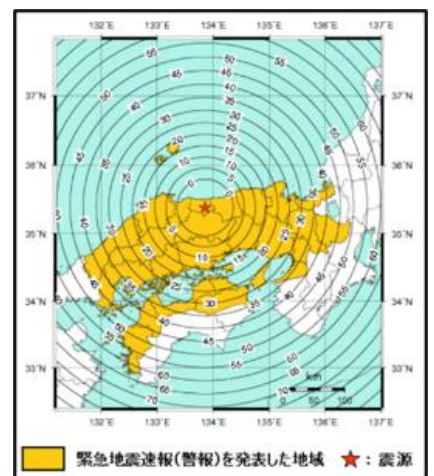
気象庁では地震による強い揺れから身を守っていただくため、一般の皆様に向けて緊急地震速報(警報)を発表しています。

2016年の鳥取県中部の地震の際には、最初の地震波検知から12.1秒後に緊急地震速報(警報)を発表しました(右図)。図の同心円の数字は緊急地震速報の提供から強い揺れが来るまでの猶予時間(秒)ですが、0秒の同心円より内側は緊急地震速報が間に合っていない地域です。緊急地震速報を見聞きしてから地震の強い揺れが来るまでの時間は数秒から数十秒しかなく、この地震のように内陸の浅い場所で地震が発生した場合などは、震源に近い場所への緊急地震速報の提供が強い揺れの到達に間に合わないという技術的限界があります。

緊急地震速報を見聞きした時は、周囲の状況に応じて、あわてずに身の安全を確保してください。また緊急地震速報が間に合わない場合等に備え、日頃から家具の耐震固定などの備えやとっさの安全確保行動を考えておきましょう。

緊急地震速報についての詳しい情報や活用方法については、以下の気象庁の解説ページも参考にしてください。

気象庁 > <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/eeew/index.html>



2016年鳥取県中部の地震における緊急地震速報(警報)第1報を発表した地域及び主要動到達までの時間

また、11月5日の「津波防災の日」「世界津波の日」の取組の一環として、今年も緊急地震速報の訓練が全国的に行われます。揺れから身を守ることが地震・津波防災の第一歩です。訓練には積極的に参加願います。